

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会
 発行 第22期 保土ヶ谷区民会議
 事務局 〒240-0001
 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9
 保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内
 TEL 334-6223 FAX 333-7945
 平成31年3月15日発行

第22期（平成29・30年度）を振り返って

区民の皆さまには、日頃より保土ヶ谷区民会議の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。区民会議は、この3月をもちまして第22期（平成29年4月～31年3月）が終わり、4月より第23期（平成31年4月より2年間）がスタートいたします。

第22期を振り返りますと、区制90周年記念事業として「かるがも小径」の命名、90周年記念事業実行委員会イベント部会に属し「倍賞千恵子コンサート」開催への協力、地球温暖化対策の一助となる「廃食油の回収」、「ほどがや花フェスタ」や「区民まつり」、「区民のつどい」における「フードドライブ」の運営、大規模地震に備えて「家具転倒防止対策について」の冊子を編集・発行、等の活動に取り組みました。また、基本である分科会活動も、4分科会から5分科会（環境・教育・交通・災害・福祉）となり、それぞれが専門性のある活動を展開しました。（詳しくは3・4面分科会活動をお読みください）

第22期は、第21期（平成28年12月）に締結しました保土ヶ谷区との協働契約が本格的に始動した期でもあり、現在、様々な視点からの行政と区民会議の協働事業を展開しています。

年に1度区内6会場で開催しています「地域のつどい」は、平成29・30年度の参加者数1,438名で過去最高を記録しました。会場で出されました意見・要望などをまとめました行政への提言・要望はあわせて75件、その後行政から頂きました回答はすべての自治会・町内会へ配布させていただきました。

第22期の活動において、ご協力いただきました区民の皆さま、自治会・町内会、区内各組織・団体、学校、行政（区役所、警察署、消防署）の方々へ厚くお礼申し上げます。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子



「地域のつどい」でいただいたご意見を整理し、区民会議から菅井区長へ「行政への提言・要望」として提出しました。また、「提言・要望」に対する回答を菅井区長からいただきました。

平成29年度 「提言・要望」提出（8月28日）、回答（10月16日）

平成30年度 「提言・要望」提出（8月28日）、回答（10月15日）



平成30年度「提言・要望」提出後の懇談風景



平成30年度「提言・要望」に対する回答

1) 愛称決定! 「^{こみち}かるがも小径」

平成29年、保土ヶ谷区制90周年記念事業として取り組んだ「相鉄星川駅～区役所の小道に愛称を!」は、区民の皆さまより261点の応募をいただき、その中から最優秀愛称として「かるがも小径」が選ばれました。平成29年11月の「区民のつどい」で表彰式、そして平成30年3月には、「90周年記念モニュメント」と並び「かるがも小径」の案内サインが設置され、関係者の立会いの下その除幕式が行われました。この愛称を長く愛していただき、お近くを通られる折には、記念モニュメント、案内サインに目をとめていただければ幸いです。



(教育分科会 小林 由美子)

2) 「フードドライブ」への取り組み

「フードドライブ」とは、家庭内で余っている食品を集め、生活困窮者の方や地域の福祉団体・施設などへ提供する活動です。



平成30年に、保土ヶ谷区内の大きなイベントである「ほどがや花フェスタ」(5月)「区民まつり」(10月)でブースが開設され、区民会議がその運営のお手伝いをしました。そして平成30年12月8日(土)の「区民のつどい」で初めて単独で「フードドライブ」の取り組みを実施しました。認知度も上がってきており、多くの方から食品(お茶、レトルト食品、インスタント食品、調味料、缶詰など)を提供していただきました。チラシや口コミでこの活動を知り、ご家庭で余った食品や贈答品などを持参された方もいました。お預かりした食品は、区社会福祉協議会を通して食べ物を必要とする方、困っている方や施設に提供されます。この活動が「食品ロス削減」のお役に立てればと思っています。

(福祉分科会 太田 千卫)

3) 「廃食油の回収」について

平成30年12月8日(土)に保土ヶ谷公会堂で開催された「区民のつどい」で、環境分科会の活動の一環として「廃食油の回収」を、横浜市地球温暖化対策推進協議会の協力のもとで行いました。1時間ほどの短い時間でしたが、およそ70人の方から、約130リットルの廃食油が集まりました。その半分は未開封だったり、賞味期限が10年以上前だったり、多くの方が油の処分に困っていることがわかります。次はいつ実施するのかと聞いてくる方が何人もいました。廃食油はゴミではなく、大切な資源だということをもっと知ってもらう為にも、このような活動を地道に続けていく必要があると思います。

(環境分科会 田辺 伸枝・大津留 久美子)

廃食油回収受付風景



4) 「家具転倒防止対策について」の冊子発行と配布



平成30年9月に保土ヶ谷公園にて横浜市総合防災訓練が開催されました。そこで林市長の挨拶の中で、横浜市内では今後30年以内にM7の地震発生確率が81%を超えてきているとの警鐘が有りました。阪神淡路大震災で沢山の教訓を得た私たちですが、いざ自らの家の中を見回して見ると、初期対策の要である家具転倒防止、ガラス飛散防止、感震ブレーカーの設置等、十分な対応が取られていないのが現状ではないでしょうか。地域防災拠点へ行く前に家具に押しつぶされて負傷や圧死してしまっは元も子もありません。水や食料の心配は命があっての話になります。

区民会議災害分科会では区との協働事業の一環として2期(4年)に渡りこの冊子の作成を進めてきましたが、この度発行の運びとなりました。既にこの2月に各自治会・町内会にお配りしております。昨今は東日本大震災からの時間の経過もあり、すっかり危機管理意識も薄れております。今一度この冊子を参考にして頂き皆様の大事な生命を守る一助になれば幸いです。なお、この冊子は保土ヶ谷区民会議ホームページからダウンロードしていただけますので是非ご活用くださるようお願いいたします。

(災害分科会 宮司 弘昭)

分科会・委員会活動報告 / 区民会議から区民の皆さまへ

今期(第 22 期)区民会議では“未来へつなごう! 人にやさしいまちづくり~すきです 保土ヶ谷 マイタウン~”をテーマに活発な活動を続けてきました。

5分科会(環境、教育、交通、災害、福祉)の第 22 期の活動と「区民の皆さまへ」として主な事項を下記のとおりまとめました。

環境分科会 — 未来につなごう 水・緑・資源 —

第 22 期は、自然環境・ゴミ問題・エコ問題の 3 部会に分れて活動し、見学会や勉強会の成果を、「区民まつり」や「区民のつどい」等で、区民の皆様方に発信してきました。自然環境への取り組みでは、ホテル観察会や横浜市環境科学研究所で学んだことから、下水・河川・海の汚染防止の必要性について訴えてきました。

ゴミ問題では、ヨコハマ 3R 夢について勉強し、正しいゴミ分別や食品ロス低減の大切さと、ゴミの水切り・庭木などの処分時には乾燥させる必要があることを訴えました。

エコ問題では、地球温暖化対策の勉強会を実施し、こまめな節電や LED 電灯の推奨等を区民に発信し、「ほどがや音エコフェスタ」への協力をいたしました。また、廃食油回収活動について新しく取り組み、「区民のつどい」で実践いたしました。



保土ヶ谷区民会議環境分科会・東京ガス LNG 基地見学 2019. 1. 16

◆区民の皆さまへ◆

- (1) 自然環境保全のため、下水道や河川の汚染防止に、ご協力ください。
- (2) ヨコハマ 3R 夢プラン実行のため、食品ロス低減に取り組みましょう。また、正しいゴミ分別とゴミ出し日の厳守に、ご協力ください。
- (3) 電化製品は LED のような、省エネ機器を使用しましょう。
- (4) 廃食油回収について、今後取り組みますので、ご協力ください。

教育分科会 — 笑顔であいさつ 思いやりの心を育もう! —

1 「あいさつ運動」を継続しました。以前作成済の「あいさつ運動ポスター」を自治会・町内会、区内小・中学校や公共機関に再掲示していただきました。

2 学校・家庭・地域でのコミュニケーションが大切だと考え、教育現場の実情を知る為に権太坂小学校を訪問しました。また、区のこども家庭支援課の情報により区内における子育ての現状把握及び行政の施策内容を学びました。そして、区民会議主催「区民のつどい」にて、今期学習してきた「家族の絆」「親子のコミュニケーション」についての活動報告を行いました。

3 区制 90 周年記念事業「星川駅から区役所までの小道」の愛称募集を行い、平成 30 年 3 月 26 日「かるがも小径」案内サイン除幕式に立ち会いました。

4 「フードドライブ」に取り組み、多数のご支援をいただきました。



権太坂小学校訪問

◆区民の皆さまへ◆

- (1) あいさつはコミュニケーションの第一歩。家族間、地域でのあいさつで、あなたの住むまちの「地域の絆」を育みましょう。
- (2) 食料等の購入は、食べられる分のみとして、もしも余ったら「フードドライブ」に協力しましょう。

交通分科会 — 安全な道路交通をめざして —

交通分科会は、交通・災害分科会から単独の分科会として発足し、「保土ヶ谷駅周辺の帷子町一丁目・二丁目商店街(税務署通り)」をモデル地区に選定し、乗降利用客の多い駅への道、旧東海道保土ヶ谷宿の道として歩行者が楽しく・安全に通行できる道路環境と商店街の活性化を見据えた提案をめざして、関係者の皆さんとの協議を行ってまいりましたが、具体的な提案に到らず次期に引き継ぎます。

委員の勉強会として「区内の交通事故の特性」と「ゾーン 30 の設定への取組と課題」についてそれぞれ行い、「安全な道路交通」についてのフリーディスカッションを行いました。



保土ヶ谷警察署交通課による勉強会

◆区民の皆さまへ◆

- (1) 「後悔先に立たず(事故を起こした後)」を想像した運転を考えてください。
- (2) 「個人賠償責任保険」を優先した自転車保険加入を考えてください。
- (3) 自転車のブレーキ、タイヤ、反射(はんしゃ)・ライト類、車体(しゃたい)、ベル等の点検をしてください。 キャッチフレーズは【ぶ・た・は・しゃ・べる】

災害分科会 — 我が家を防災拠点にしよう —

第22期災害分科会を23回開催し、各テーマを推進しました。

- 1 DIG 出前講習会（災害図上訓練）を平成30年9月15日に西原自治会41名の参加で開催しました。
- 2 HUG 出前講習会（避難所運営ゲーム）を平成29年12月9日に新桜ヶ丘地区48名、平成30年4月28日に常盤台地区54名、平成30年9月8日に榑太坂境木地区40名の計142名の参加で開催しました。
- 3 平成30年9月2日保土ヶ谷公園で開催された「横浜市総合防災訓練」に災害分科会は公益社団法人災害ボランティアネットワークと協働で「ガラス飛散防止フィルム」の貼付体験ブースを展開しました。
- 4 平成30年11月21日初音が丘小学校キッズクラブ(90名)を対象に防災講習会を開催しました。
 - ◎NPO 法人みんな集まれ いきいきはまっ子・初音が丘 キッズスタッフ7名
 - ◎公益社団法人SL 災害ボランティアネットワーク9名と災害分科会6名 計112名
 - 第1部 パワーポイントで水や食料等生活用品の備蓄、いざという時の心構え
 - 第2部 1・2年生は新聞紙でスリッパづくり 3～6年生ビニール袋で雨合羽の作製
 - 来年は保護者と一緒に参加してもらえたら・・・の声もありました。
- 5 災害分科会は区との協働事業の一環として「家具転倒防止対策冊子」の発行の運びとなりました。平成31年2月16日開催の「20万区民の自助・共助による減災運動」推進大会での来場者に、「いのちを守る」の一助になればとの想いを込めて配布しました。



横浜市総合防災訓練の体験ブース

◆区民の皆さまへ◆

- (1) 災害分科会は、今期に続き来期も HUG・DIG の出前講習会を実施します。
- (2) 保土ヶ谷区災害対策連絡協議会 広報啓発部会と連携し、「20万区民の自助・共助 減災運動」をさらに推進します。

福祉分科会 — 学び 考え 発信する福祉分科会 —

福祉分科会は「人にやさしいまちづくり」のために福祉の課題や行政の施策などを学び活動してきました。前半(29年度)は「高齢者・障がい者の福祉」を学び、後半(30年度)は「地域医療・介護連携サービス」と「児童相談所の役割」などを学びました。学んだ内容を皆様に伝えるため「区民のつどい」で「しんちゃんのボーッと聞いているんじゃないよ!」という人形劇で①障がい者の支援、②高齢者の介護、③認知症サポーターについて訴えさせて頂きました。人生100年時代に入り、個人にあっては介護に頼らず生き生きと暮らす工夫(介護予防)が喫緊の課題です。

◆区民の皆さまへ◆

- (1) ご近所に介護が必要な高齢者や障がい者はいませんか？
地域ケアプラザでは様々な支援が用意されています。お気軽にご相談下さい。
- (2) ご近所で子どもさんの虐待が疑われると思われる時には、直ちに児童相談所に連絡して下さい。
私たち大人は通告の義務があります。〔児童福祉法第25条（要保護発見者の通告義務）〕

平成30年「区民のつどい」発表風景

**「区民のつどい」開催される**

12月8日(土)保土ヶ谷公会堂において、420人の区民の方々の参加を得て平成30年「区民のつどい」が開催されました。区民会議各委員より、区民会議全体、環境分科会、教育分科会、交通分科会、災害分科会、福祉分科会、「地域のつどい」で出された提言・要望に対する行政からの回答(抜粋)と、第22期区民会議の活動報告がされました。参加された方々はどの発表にも真剣に耳を傾けられていましたが、福祉分科会の腹話術を使った発表の時には、会場から思わず笑いがもれていました。そして、すっかりお馴染みになった認知症予防体操、保土ヶ谷区の歌唱合唱団による合唱、横浜市消防音楽隊による素晴らしい演奏とポートエンジェルス119による華麗なドリル演技と続き「区民のつどい」は無事終了いたしました。この他、地場野菜「夕市」や、家庭で使い終わった食用油を資源として活用する「廃食油の回収」や、家庭で余った食品を必要とする人に届ける「フードドライブ」が実施されました。(「区民のつどい」実行委員会 平本 勉)